

山崎一穎（やまざきかずひで）



生年月日（出生地）

一九三八年九月二〇日（長野県中野市）

学歴

一九六二年三月 早稲田大学教育学部国語国文学科卒業
 一九六三年四月 早稲田大学大学院文学研究科修士課程入学（日本文学専攻）
 一九六六年三月 早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了（日本文学専攻）
 一九六七年四月 早稲田大学大学院文学研究科博士課程入学（日本文学専攻）
 一九七〇年三月 早稲田大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学（日本文学専攻）

学位

一九六六年三月 学位 文学修士（早稲田大学 第一二二号）
 二〇〇七年四月 学位 博士（文学）早稲田大学 第四五四六号

職歴

一九六二年四月 千葉県立船橋高等学校教諭定時制普通科勤務
 一九六四年四月～一九六五年三月 千葉県立船橋高等学校全日制普通科「国語」講師を兼務
 一九六六年四月～一九六七年三月 千葉県立船橋高等学校全日制普通科「国語」講師を兼務
 一九七〇年三月 千葉県立船橋高等学校教諭定時制普通科退職
 一九七〇年四月 跡見学園女子大学文学部国文学科専任講師に就任
 一九七三年四月～一九七四年三月 東京都立墨田川高等学校全日制普通科「国語」（漢文担当）非常勤講師
 一九七四年四月 跡見学園女子大学文学部国文学科助教教授に就任
 一九七六年四月～一九八九年三月 立教大学一般教育部非常勤講師
 一九七六年四月～一九九四年三月 立教大学文学部日本文学科非常勤講師
 一九七八年四月 跡見学園女子大学文学部国文学科教授に就任
 一九七八年一〇月 跡見学園女子大学第四代学長に就任（職務上、跡見学園評議員・理事兼任）
 一九八二年一〇月 跡見学園女子大学学長に再任
 一九八六年一〇月 跡見学園女子大学学長退任（任期満了）

- 一九八六年一〇月 跡見学園女子大学学長事務取扱に就任
- 一九八七年三月 跡見学園女子大学学長事務取扱解任
- 一九八七年三月 跡見学園女子大学学長に就任
- 一九八七年八月 大学設置審議会における教員組織審査に合格
立教大学法学部国際・比較法学科（職名）非常勤講師
〔担当授業科目〕一般教育部「文学」、文学部日本文学科
〔日本文学演習〕
- 一九八九年七月 跡見学園女子大学学長辞任（依願）（跡見学園
評議員・理事辞任）
- 一九九〇年四月～一九九二年三月 早稲田大学教育学部国語国文
学科非常勤講師
- 一九九〇年一〇月～一九九三年五月 跡見学園第一四期評議員に
就任
- 一九九〇年一〇月～一九九三年六月 跡見学園第一四期理事に就
任
- 一九九〇年一月～一九九一年二月 跡見学園女子大学入試広
報室長に就任
- 一九九二年四月～一九九三年三月 国内留学（早稲田大学大学院
文学研究科（日本文学専攻）の派遣研究員）
- 一九九二年四月～一九九三年三月 立教大学大学院文学研究科
（日本文学担当）非常勤講師
- 一九九三年五月～一九九六年五月 跡見学園第一五期評議員に就
任
- 一九九三年六月～一九九六年六月 跡見学園第一五期理事に就任
- 一九九四年二月～一九九四年七月 跡見学園女子大学学長事務取
扱に就任
- 一九九五年四月～一九九六年三月 立教大学大学院文学研究科
（日本文学担当）非常勤講師
- 一九九六年五月 跡見学園第二六期評議員に就任
- 一九九六年六月 跡見学園第二六期理事に就任
- 一九九八年三月 跡見学園第二六期評議員・理事辞任
- 一九九八年四月 跡見学園女子大学第八代学長に就任（職務上、
跡見学園評議員・理事兼任）
- 一九九九年七月～二〇〇〇年三月 文部省大学設置・学校法人審
議会（大学設置分科会専門委員）
- 二〇〇〇年七月～二〇〇一年一月 文部省大学設置・学校法人審
議会（大学設置分科会専門委員）
- 二〇〇一年七月～二〇〇二年三月 文部科学省大学設置・学校法
人審議会（大学設置分科会専門委員）
- 二〇〇二年四月 跡見学園女子大学文学部改組により跡見学園女
子大学文学部人文学科教授に就任、跡見学園女子大学学長
に再任（職務上、跡見学園評議員・理事兼任）
- 二〇〇二年六月 跡見学園第一八期常務理事（教学担当）に就任
- 二〇〇三年四月 跡見学園女子大学短期大学部学長を兼任
- 二〇〇五年六月 跡見学園第一九期常務理事（教学担当）に就任
- 二〇〇六年三月 跡見学園女子大学学長、跡見学園短期大学部学
長退任（任期満了）学長退任に伴い跡見学園第一九期評議
員、理事、常務理事（教学担当）辞任
- 二〇〇六年四月 跡見学園女子大学文学部コミュニケーション文
化学科教授（移籍）

二〇〇六年四月 跡見学園第一九期評議員、理事に就任（前任者の残任期間、任期 二〇〇八年六月二三日）

二〇〇六年四月 跡見学園第一九期常務理事（教学担当）に就任（継続、任期 二〇〇八年六月二三日）

二〇〇七年四月 跡見学園中学校高等学校校長に就任（前任者の残任期間、任期 二〇〇八年三月三一日） 校長就任に伴ない跡見学園第一九期評議員、理事に就任（任期 二〇〇八年三月三一日）

二〇〇八年四月 跡見学園中学校高等学校校長に再任（任期 二〇一二年三月三一日）、跡見学園第一九期評議員、理事（職務上）に就任、さらに常務理事（教学担当）に就任（継続、任期 二〇〇八年六月二三日）

二〇〇八年六月 跡見学園第二〇期評議員、理事（職務上）に就任、さらに常務理事（教学担当）に就任（任期 二〇一一年六月二三日）

学会・社会における活動等

日本近代文学会運営委員（一九七八年四月一日～一九八〇年三月三一日）

社団法人日本私立大学連盟会員（跡見学園）代表登録者（一九七八年一〇月～一九八九年八月三一日）

日本近代文学会評議員（一九七九年四月一日～二〇〇八年三月三一日）

埼玉県私立大学連絡協議会第八代代表幹事（一九八二年四月一日～一九八四年三月三一日）

社団法人日本私立大学連盟学長会議運営委員（一九八三年四月八日～一九八五年三月三一日）

社団法人日本私立大学連盟国庫助成対策委員会公費負担検討部会委員（一九八三年四月九日～一九八五年三月三一日）

社団法人日本私立大学連盟学術研究体制検討委員（一九八三年六月九日～一九八五年三月三一日）

社団法人埼玉総合研究機構評議員（一九八五年一月一日～一九九〇年三月三一日）

日本近代文学会編集委員（一九八五年四月一日～一九八八年三月三一日）

森鷗外記念会常任理事（事務局・東京都文京区立鷗外記念本郷図書館内）（一九八五年四月一日～二〇〇五年六月三日）

日本近代文学会編集委員長（一九八六年四月一日～一九八八年三月三一日）

日本近代文学会常任理事（編集担当）（一九八六年四月一日～一九八八年三月三一日）

社団法人日本私学研修福祉会評議員（一九八六年九月二〇日～一九八八年九月一九日（任期満了））

社団法人退職金財団評議員（一九八八年六月二四日～一九八九年一〇月二二日（前任者の残任期間、任期満了））

社団法人日本私学研修福祉会評議員（一九八八年九月二〇日～一九八九年八月三一日（辞任（依願））

森鷗外生誕一三〇周年記念森鷗外展の展示監修（島根県鹿足郡津和野町教育委員会委嘱）（一九九一年一月一九日～一九九二年三月三一日）

- 森鷗外記念館の展示工事監修並びに常設展示監修（島根県鹿足郡津和野町教育委員会委嘱）（一九九四年一月一日～一九九五年三月三十一日）
- 森鷗外記念館運営協議会会長（津和野町教育委員会委嘱）（一九九五年一〇月一日～）
- 早稲田大学 国文学会会国文学会（窪田空穂）賞選考委員（近・現代文学）（一九九八年～一九九九年）
- 社団法人日本私立大学連盟会員（跡見学園）代表登録者（一九九八年四月一日～二〇〇六年三月三十一日）
- 財団法人日本近代文学館評議員（一九九八年六月一日～二〇〇〇年六月一日）
- 東京都文京区立鷗外記念本郷図書館改築問題懇談会委員（文京区教育委員会教育長委嘱）（一九九八年六月二五日～一九九九年三月三十一日）
- 東京都文京区立鷗外記念本郷図書館改築基本構想策定委員（文京区教育委員会教育長委嘱）（一九九九年八月二五日～二〇〇一年三月三十一日）
- 日本近代文学会常任理事（総務担当）（二〇〇〇年四月一日～二〇〇二年三月三十一日）
- 財団法人日本近代文学館理事（二〇〇〇年六月一日～二〇〇一年六月一日）
- 全国大学国語国文学会理事（二〇〇一年七月一日～二〇〇九年六月三〇日）
- 東京都文京区生涯学習推進協議会会長（二〇〇一年一〇月一日～二〇〇五年九月三〇日）
- 財団法人日本近代文学館常務理事（二〇〇一年六月二日～）
- 森鷗外生誕一四〇周年記念事業・森鷗外展（第一期から第三期）展示監修（島根県鹿足郡津和野町教育委員会委嘱）（二〇〇二年三月二日～二〇〇三年一月九日）
- 「文の京文芸賞」実行委員会委員長（東京都文京区主催）（二〇〇二年四月一日～二〇〇三年三月一日）
- 埼玉県私立大学連絡協議会理事（大学代表）（二〇〇二年四月一日～二〇〇六年三月三十一日）
- 財団法人小倉百人一首文化財団理事（事務局・京都市）（二〇〇三年一月一日～二〇〇九年三月三十一日）
- 全国文学館協議会幹事長（事務局・財団法人日本近代文学館内）（二〇〇三年六月一日～）
- 第二回「文の京文芸賞」実行委員会委員長（東京都文京区主催）（二〇〇四年六月一日～二〇〇五年一〇月三十一日）
- 森鷗外記念会会長（事務局・東京都文京区立本郷図書館鷗外記念室内）（二〇〇五年六月四日～）
- 鎌倉市生涯学習施設指定管理者選定委員会（鎌倉市教育委員会委嘱）委員長（二〇〇五年九月二六日～二〇〇五年十二月一日）
- 第三回「文の京文芸賞」実行委員会委員長（東京都文京区主催）（二〇〇六年四月一日～二〇〇八年三月二〇日）
- 文学館のあり方に関する懇談会座長 荒川区社会教育課（二〇〇六年一月二八日～二〇〇七年三月一日）
- 文京アカデミー推進協議会会長（東京都文京区）（二〇〇七年一月三十一日～二〇〇九年一月三〇日）

吉村昭記念文学館基本構想委員会委員長（荒川区教育長委嘱）
（二〇〇七年八月二七日）（二〇〇八年三月二五日）

日本近代文学会監事（二〇〇八年四月一日）（二〇一〇年三月二二日）
第四回「文の京文芸賞」実行委員会委員長（東京都文京区主催）
（二〇〇八年四月二八日）（二〇一〇年三月）

吉村昭記念文学館推進委員会（荒川区教育長委嘱）委員長（二〇〇八年一月五日）（二〇〇九年三月二日）

津和野町歴史文化基本構想策定委員会（教育長委嘱）委員（二〇〇八年一月二日）（二〇一一年三月二日）

「（仮称）森鷗外記念館」（文京区）建築基本及び施設設計委託業者選定委員会（文京区教育長委嘱）委員（二〇〇九年一月二九日）（三月三〇日）

教育方法の実践例

プロゼミーその現状と課題 二〇〇二年九月一八日プロゼミ・ワークショップで発表。のち加筆して「跡見学園女子大学FDジャーナル」〈授業改善と教育力向上を目指す実践報告書〉第二号に掲載。九〇一二頁、二〇〇三年三月三一日

FDワークショップ 総合科目の検討—どう総合させるか—のち「跡見学園女子大学FDジャーナル」〈授業改善と教育力向上をめざす実践報告集〉第六号（二〇〇七年三月三二日）に掲載。五〇六頁、二〇〇六年一月二九日実施

作成した教科書・教材

浅井清／佐藤勝編『日本現代小説大事典』二〇〇四年七月一〇日、

明治書院、全一六一三頁 五人の作家の経歴と九作品の解説を執筆

その他教育業績（著書・学術論文は除く）

◎日本近代文学館主催〈文学者を肉筆で読む〉「舞姫」自筆稿を読む、二〇〇二年四月二〇日

◎国立市公民館主催 文学講座 混沌の中から、二〇〇二年五月九日 田中小実昌「岩塩の袋」を読む

◎森鷗外記念館主催 人は死に臨んで—乃木希典、原敬、森林太郎の遺言をめぐる、二〇〇二年七月七日

◎島根県立津和野高校主催 森鷗外の西欧体験、二〇〇二年七月八日

◎森鷗外記念館主催 シンポジウム 森鷗外の青春、二〇〇二年八月四日

◎日本近代文学館主催 二〇〇二年度文学館演習—資料の活用〈肉筆資料〉「伊澤蘭軒」の補訂稿の検討、二〇〇二年八月二八日

◎文京区立鷗外記念本郷図書館主催第二八六回文学講演会 鷗外の顔—肖像写真をたどる、二〇〇三年二月二二日

◎文京区立鷗外記念本郷図書館主催第二八七回文学講演会 帝室博物館総長兼図書頭時代の鷗外、二〇〇三年三月一五日

◎国立市公民館主催 文学講座—生の根源へ、二〇〇三年五月八日 高井有一「掌の記憶」、二二月二日 赤坂真理「蝶の皮膚の下」を読む

◎森鷗外記念館主催〈鷗外忌講演会〉鷗外の遺言と津和野 於

- 森鷗外記念館、二〇〇三年七月六日(日)
- ◎日本近代文学館主催 二〇〇三年度文学館演習―資料の活用
《肉筆資料》、二〇〇三年八月二七日
- ◎国立市公民館主催《現代を考えるシンポジウム》今、文学に求めること―文学の有効性をめぐって―於国立市公民館、二〇〇三年八月二二日(日)
- ◎学会の依頼講演「国文学 言語と文芸の会」秋の大会《記念講演》帝室博物館総長時代の鷗外 森林太郎 於実践女子学園高等学校大会議室、二〇〇三年九月一五日(日)
- ◎「読売新聞」都内版《ぜみな―る》江戸東京学 紀尾井坂、二〇〇三年一〇月四日(土)
- ◎跡見学園女子大学シンポジウム―dream@me、夢はいつからはじまる―テーマ「働く女性のライフデザイン」於跡見講堂、二〇〇三年一二月一五日
- ◎「読売新聞」都内版《ぜみな―る》江戸東京学 泉岳寺、二〇〇三年一二月二日(土)
- ◎「読売新聞」都内版《ぜみな―る》江戸東京学 東京駅丸の内、二〇〇四年一二月四日(土)
- ◎「読売新聞」都内版《ぜみな―る》江戸東京学 上野(戦争)、二〇〇四年三月二三日(土)
- ◎森鷗外記念館主催《鷗外忌講演》津和野における森家の転居考―絵図に見る森家の変遷―、二〇〇四年七月一日
- ◎《第二回「文の京文芸賞」記念文学座談会》、二〇〇四年九月二五日
- ◎国立市公民館主催 文学講座―危機としての日常、二〇〇四年五月一三日 村上龍「共生虫」、一二月九日 又吉栄喜「豚の報い」を読む
- ◎「読売新聞」都内版《ぜみな―る》江戸東京学 芝 田町 お台場 板橋、二〇〇四年五月一八日(火) 二〇〇四年七月六日(火) 二〇〇四年九月二八日(火) 二〇〇四年一二月二三日(火)
- ◎跡見学園女子大学シンポジウム テーマ「人生をもっと楽しくマネジメント」於有楽町マリオン朝日ホール、二〇〇五年一〇月二六日
- ◎国立市公民館主催 文学講座 記憶の底から、二〇〇五年五月一二日 坂口安吾「白痴」、一二月八日 桐野夏生「玉蘭」を読む
- ◎講演 文京区立鷗外記念本郷図書館主催第二九七回文学講演会 森鷗外『本家分家』の背景、二〇〇五年六月四日
- ◎講演 北九州森鷗外記念会主催《森鷗外をしのぶ》講演『本家分家』の謎を解く、二〇〇五年六月九日
- ◎講演 森鷗外記念館主催《鷗外忌講演会》『本家分家』の新事実、二〇〇五年七月一〇日
- ◎講演《東京都文京区平成一七年度学長講演会》歴史の闇に葬られた人々への雪冤哀史―長谷川伸「相楽総三とその同志」、網瀬謙錠「冤(えん)」を読む、二〇〇六年一月五日
- ◎講演 森鷗外記念館主催《鷗外生誕記念講演》鷗外と素軒―郷土出身の日本画家との交流―、二〇〇六年一月一五日
- ◎講演《日本腹部救急医学会総会特別講演》森鷗外西欧体験者の憂鬱、二〇〇六年三月九日

- ◎国立市公民館主催 文学講座 テーマ…戦後文学を読む(一)、二〇〇六年五月一日 武田泰淳「ひかりごけ」、二月四日 田宮虎彦「落城」を読む
- ◎大学主催公開講座 テーマ…女性を描く／女性が描く「文学・挿絵・マンガ」の女性表現を読む、二〇〇六年六月二十四日 森家の家庭―鷗外の「平日」と妻志げの「波瀾」をめぐる―
- ◎講演 森鷗外記念館主催 (鷗外忌講演会) 演題…森家の墓所の変遷について、二〇〇六年七月二日
- ◎文学座談会 第三回「文の京文芸賞」記念文学座談会、二〇〇六年九月三〇日
- ◎講演 森鷗外記念館主催 (鷗外生誕記念講演) 演題…鷗外と漱石の交流、二〇〇七年一月一日
- ◎講演 荒川区議会観光・文化推進調査特別委員会主催 理想的文学館とは、二〇〇七年六月一日
- ◎国立市公民館主催 文学講座 テーマ…戦後文学を読む(二)、二〇〇七年二月一三日 林京子「時間をかけた人間の経験」を読む
- ◎講演 北九州市立文学館主催 (「森鷗外展をりの微笑」開館記念講演) 演題…鷗外に於ける小倉、二〇〇七年一〇月五日
- ◎跡見学園女子大学シンポジウム テーマ「働く私のライフスタイル」、二〇〇七年一月一七日 於跡見講堂
- ◎講演 森鷗外記念館主催 (森鷗外生誕記念講演) 演題…印譜に表れた鷗外の心、二〇〇八年一月一九日
- ◎足立区教育委員会・足立史談会主催 平成二〇年度(二〇〇八)春季区民教養講座講演 演題…鷗外の生き方、二〇〇八年四月二〇日、於綾瀬ブルミエ勤労福祉会館
- ◎日本近代文学館主催 二〇〇八年度講座「文学者を肉筆で読む―文学者の手紙―」 鷗外の気配り 佐佐木信綱宛書簡、二〇〇八年九月二〇日
- ◎国立市公民館主催 文学講座 テーマ…戦後文学を読む(三)、二〇〇八年二月一日 林美美子「晩菊」を読む
- ◎森鷗外記念館主催 (鷗外生誕記念講演) 松本清張『或る「小倉日記」伝』を読む、二〇〇九年一月二七日、於森鷗外記念館

著書

- 『森鷗外・歴史小説研究』(単著) 全二四二頁、一九八一年一〇月一日、桜楓社
- 『森鷗外・史伝小説研究』(単著) 全三二〇頁、一九八二年五月二〇日、桜楓社
- 『Spirit森鷗外』〈作家と作品〉(単著) 全一九六頁、一九八五年六月一日、有精堂
- 『三生を行く人 森鷗外』(単著) 全三三四頁、一九九一年一月二五日、新典社
- 『鷗外をめぐる百枚の葉書』(共編著…監修者 長谷川泉、編集委員長 山崎一類、掲載頁一〇〇枚中三〇枚「解題」執筆) 全一二二頁、一九九二年七月九日、東京都文京区教育委員会

NHK文化セミナー「明治文学を読む」『森鷗外 その文学の時間』(単著) 全二六八頁、一九九七年四月一日、日本放送

出版協会

『森鷗外 明治知識人の歩んだ道』(共編著・監修) 全一四五頁・

二冊一箱、一九九九年三月、森鷗外記念館(津和野)

『森鷗外 明治知識人の歩んだ道』(注記)(単著) 全一二〇頁・

資料解題、一九九九年三月三十一日、森鷗外記念館(津和野)

『森鷗外 明治人の生き方』(筑摩新書二三七)(単著) 全二三七

頁、二〇〇〇年三月二〇日、筑摩書房

『森鷗外・歴史文学研究』(単著) 全三七九頁、二〇〇二年一〇月、

おうふう

『鷗外自筆帝室博物館蔵書解題』(共編著・監修者 竹盛天雄、山

崎一穎、高橋裕次 監修者として「解説」執筆) 全八巻別

巻一、二〇〇三年二月二五日、ゆまに書房

『鷗外十話』(単著) 全二〇八頁(豆本)、二〇〇五年六月七日、

鳥影社

『森鷗外論攷』(単著) 全七一九頁、二〇〇六年二月一日、お

うふう

学術論文

「山口虎太郎(秀高)―鷗外ゆかりの人々(その一)」『評言と構

想 第一三輯』六六―八〇頁、一九七八年六月三〇日、評

言と構想の会

「長井金風―鷗外ゆかりの人々(その二)」『評言と構想 第一四

輯』五五―八四頁、一九七八年九月三〇日、評言と構想の

会

「大衆文学成立史に関する一考察―『書き講談』の誕生をめぐつ

て」『跡見学園女子大学紀要 第一二号』一一―二頁、一九

七九年三月―五日

「鈴木春浦―鷗外ゆかりの人々(その三)」『評言と構想 第一五

輯』二六―三三頁、一九七九年三月三十一日、評言と構想の

会

「玉水俊弼―鷗外ゆかりの人々(その四)」『評言と構想 第一六

輯』五一―八頁、一九七九年六月三〇日、評言と構想の会

「宮芳平―鷗外ゆかりの人々(その五)」『評言と構想 第七輯』

五―六八頁、一九七九年一月三〇日、評言と構想の会

「本間俊平―鷗外ゆかりの人々(その六)」『評言と構想 第一九

輯』一七―四六頁、一九八〇年一〇月三〇日、評言と構想

の会

「平出修―鷗外ゆかりの人々(その七)」『評言と構想 第三二輯』

五一―六八頁、一九八二年一月三十一日、評言と構想の会

「変質する純文学―歴史のロマン」(分担)『講座昭和文学史 第

四巻―日常と非日常(昭和三、四十年代)』一〇七―一一九

頁、一九八九年一月一日、有精堂

「初期の鷗外」(分担)『時代別 日本文学史事典(近代編)』一〇

四―一九頁、一九九四年六月一日、有精堂

「メディアの捉えた跡見花隠」『跡見学園女子大学花隠記念資料館

にいくらNo.1』五―二〇頁、一九九六年三月二〇日

「井上靖―その歴史小説考」(分担)『井上靖 詩と物語の饗宴』

一三六―二四六頁、一九九六年二月一日、至文堂

「青春の旅 森鷗外のドイツ留学」『Inghelheimer No60』一一頁、二〇〇二年七月三〇日、創房閣宮社

「森鷗外『舞姫』解説」『舞姫』（ちくま文庫）六七―一二三頁、二〇〇六年三月一〇日、筑摩書房

学会発表等

森鷗外の歴史小説『魚玄機』の原資料について、一九六一年一〇月二九日、早稲田大学国文学会 秋季大会

漢文教育における二、三の問題点 漢文入門篇・漢詩についてなど、一九六四年九月、早稲田大学国語教育学会 第八回例会

鷗外『津下四郎左衛門』論、一九六四年一〇月二三日、日本近代文学会 秋季大会 於東京大学

『灰燼』（森鷗外）試論、一九六九年二月三日、日本近代文学会 二月例会 於昭和女子大学

鷗外・史伝小説序説、一九七二年一月一二日、早稲田大学国文学会 秋季大会

森鷗外の独逸留学体験と『舞姫』、一九九〇年一月一〇日、早稲田大学国語教育学会 第一六五回例会

文学全集の諸問題――『鷗外全集』の問題点と課題、一九九六年九月二八日、日本近代文学会 九月例会 於立教大学

ジャンル論の地平を拓く――歴史叙述の通時的、共時的考察（大塩平八郎の乱の系譜／一八八一〈明治一四〉年・北海道樺戸集治監）、二〇〇〇年一〇月二八日、国際日本文化研究センター主催シンポジウム「学芸ジャンルの編成と再編成をめぐって」（第一回歴史・伝記・自伝）於国際日本文化研究センター「パネリスト…鈴木貞美（国際日本文化研究センター教授）、ウォルフガング・シャモニー（ドイツ・ハイデルベルグ大学教授）、山崎一穎（跡見学園女子大学教授）」

死守するために破壊せよ―ジャンルの越境を目指して―、二〇〇四年六月六日、全国大学国語国文学会夏季大会、於早稲田大学シンポジウムテーマ…大学における人文学研究をいかに守るか「コーディネーター兼パネリスト…中西進（京都市立芸術大学長）、雨海博洋（元二松学舎大学長）、神作光一（元東洋大学長）、北原保雄（元筑波大学長）、山崎一穎（跡見学園女子大学長）」